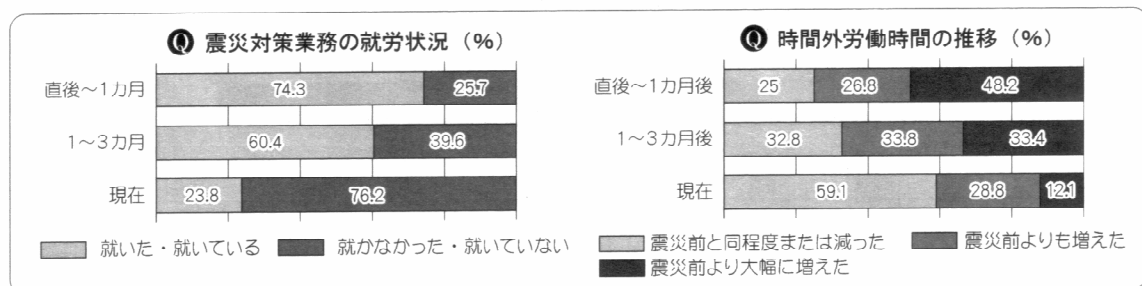
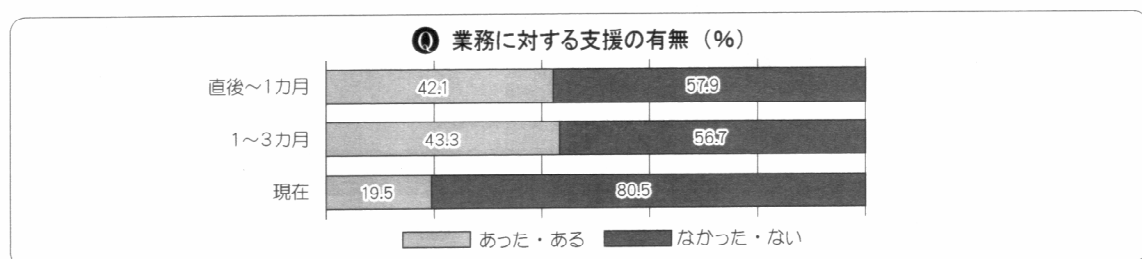


1-1. 被災自治体の職員の業務の状況等について

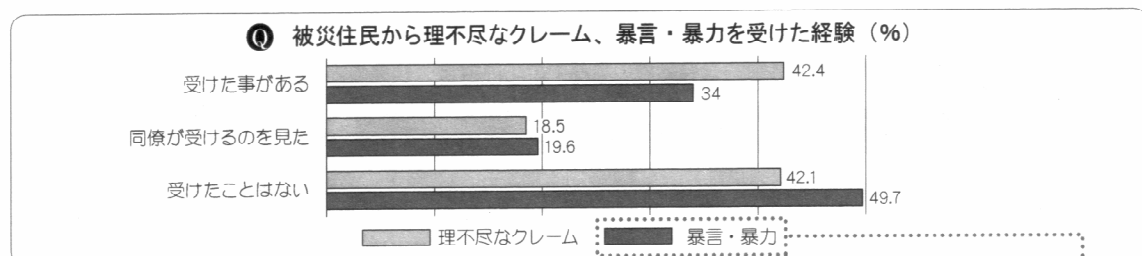
- (1) 震災から1年以上が経過するが、現在もなお職員の4人に1人が震災対策業務に就いており、職員の4割が震災前よりも時間外労働が増えているとしている。



- (2) 一方、他の自治体からの業務支援は減少傾向にある（※なお、被災自治体職員の約3分の2が「業務支援は役に立った」と回答している）。



- (3) 震災後の業務で、被災住民から、職員の2人に1人が理不尽なクレームを受けた経験があり、3人に1人が被災住民から暴言・暴力を受けた経験がある。



- (4) 暴言・暴力を「自分が受けた」と答えた者（母数=2,133人）の中で、88.6%は暴言、2.0%は暴力を経験し、「同僚が受けるのを見た」と答えた者（母数=1,227人）では、87.4%が暴言、4.6%が暴力を経験していた。

